

12月の予定

1	火	いのちと人権の日 放課後子ども広場
2	水	
3	木	1年生がんばりタイム、定時退勤日
4	金	3年生環境体験学習（炭づくり） 放課後子ども広場
5	土	
6	日	人権週間「人権作品表彰式」
7	月	楓っ子タイム、南小クラブ(18日まで)
8	火	多可町独自学力テスト 放課後子ども広場
9	水	個別懇談会①
10	木	個別懇談会② 登校指導、校内安全検、定時退勤日
11	金	個別懇談会③
12	土	中町中学校入学説明会
13	日	
14	月	生活指導委員会
15	火	放課後子ども広場
16	水	
17	木	2年生がんばりタイム、定時退勤日
18	金	4年生福祉学習（手話体験①～④） いじめ防止対策委員会
19	土	
20	日	
21	月	児童代表委員会
22	火	下校指導
23	水	地区児童会、給食最終日、大掃除
24	木	終業式、職員会議、定時退勤日
25	金	冬季休業日
26	土	冬季休業日
27	日	冬季休業日
28	月	冬季休業日
29	火	冬季休業日、年末休日
30	水	冬季休業日、年末休日
31	木	冬季休業日、年末休日、大晦日

1月の主な予定

- 7日（木）3学期始業式
- 8日（金）給食開始
- 18日（月）防災学習



〇お礼

《オープンスクールありがとうございました》

10月28日(水)、第2回オープンスクールを実施しました。午前中のみで開催でしたが、160名を超える保護者の皆様にお越しいただきました。教科の学習をはじめ、休み時間の様子、また外部講師の方々による授業の様子も見ていただきました。障がい者スポーツに取り組まれている神戸コスモスの皆さん、納税協会の皆さん、そして社会福祉協議会の皆さんにお世話になりました。参観後のアンケートでは、「落ち着いて勉強していました」「休み時間には、お友だちと仲よく遊べていて安心しました」「こんな時期(コロナ禍)でしたが、参観できてよかったです」などたくさんの感想をいただきました。早朝よりご来校いただき、ありがとうございました。



《6年生親子ふれあい活動》

10月31日（土）には、6年生の親子ふれあい活動「ミニ運動会」が開催されました。学級委員の皆さんにお世話になり、1学期から計画、準備を熱心にしていただいたおかげで、当日は参加者みんなが笑顔で楽しむことができました。フラフラになりながらもゴールを目指す姿や、親子本気対決での真剣な表情で対戦した綱引きやリレーは、本当に心に残るものになりました。このような状況の中でも小学校生活最後の親子ふれあい活動ができ、素敵な思い出ができたこと、学級委員のみなさんと保護者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました



《人権の花運動》

11月25日（水）人権擁護委員さん2名が来校され、「人権の花運動」の一環として、花を植えたプランターを学校に届けてくださいました。この運動は、学校に配布した花の種子、球根などを子どもたちが協力し育てることによって生命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的としたものです。例年ならば人権擁護委員さんと一緒に花を植えるのですが、今年度は、新型コロナの影響もあり、花を植えたプランターを届けていただきました。園芸委員会を中心に大切に育てていきます。ありがとうございました。



児童会スローガン「勇気・えがお・一致団結～262人の仲間たち～」

学校だより
かえで
楓っ子



令和2年度 12月号
多可町立中町南小学校
令和2年12月1日（火）発行
<https://www.town.taka.lg.jp/minamisho/>
電話32-0011

繋がる・・・

学校長 神崎進吾



11月2日（月）～6日（金）にかけて、6年生が下級生のためにと「ハロウィンパーティー」を企画してくれました。これまで新型コロナウイルス感染防止のために、従来、児童会が企画していた全校集会活動や縦割り遊びを実施できない状況が続いています。それならば、「学年ごとに6年生が全校生を楽しませよう！」というこの企画。6年生がたくさんのアイデアと工夫で様々な遊びを創り出してくれました。

6年月組は、的あてレッツゴー、ハロウィンたたき、つり＆輪投げ、デンジャラスボックス。6年雪組は、恐怖の館、宝の館、冒険の館（リアルまちがい探し、めざせ脱出じゃんけんぽん）と、どれも魅力的なブースばかり。6年生が数名のグループに分かれて、約4週間に渡って、各々に趣向を凝らし、コツコツと計画・準備を進めてくれました。

当日、1～5年生は、学年ごとに割当の時間が決められ、学級ごとにパーティーに参加。1年生は、この日のために自作したかわいい仮装をして、張り切って会場に向かいました。会場では、6年生が細かな指示や進め方まで、各ブースの運営を生き生きと自分たちでやり切りました。下級生の反応も上々。どのブースも下級生は存分に楽しみ、大成功となりました。

コロナ禍にあって様々な教育活動に制限がある中ですが、6年生がリーダーシップを発揮できる場を設けたい、また、6年生と下級生との繋がりを深めたい、中町南小の最高学年の姿とはこうなんだよ、という気風を受け継ぎたいという6年生の担任や子どもたちの思いが形になりました。感染症対策をとりつつ創意工夫し、上級生と下級生が一体となった素敵な時間と空間をこの中町南小学校に創り上げてくれました。

こうやってこの文章を書いている今、このハロウィンパーティーを実施した約1か月前と比べても、次々と新型コロナウイルス感染症拡大の情報が入ってきており、予断を許さない状況になりつつあります。今後、状況が悪化するにつれ、一層、教育活動に制約がかかることになるでしょう。特に、学校での学びの特徴ともいえる集団生活、人と人との繋がりとといった面での制約が大きくなります。これは、学校での学びの根幹を揺るがすことでもあります。

今後、学校では、ストーブ等の暖房が入る時期になります。手洗い、消毒、マスクの着用、換気の徹底に加え、普通教室に加湿器の設置の準備を進めているところです。また、状況に応じて、教科学習の方法も見直していく必要があります。

しかし、こういう状況にあるからこそ、しっかりした感染症対策をとりつつも、いかにして子どもたち同士の繋がりを深め、集団生活を創っていくのかを考えていかななくてはならない……。改めてそう思います。今後も、難しい学校運営が予想されますが、何卒、本校の教育にご理解とご協力をお願いいたします。



《11月の教育活動の様子》

☆ハロウィンパーティーの様子



☆社会見学・体験学習

11月は社会見学や体験学習が目白押し。マスク着用と消毒の励行、バスの増便など感染症対策を取りつつ、学習を行いました。

① 4年生社会見学(大熊窯・人と自然の博物館)

11月6日(金)、爽やかな秋晴れの下、3年生が社会見学で大熊窯(丹波焼)と人と自然の博物館に行きました。800年の歴史を誇る六大古窯の一つである丹波焼。その名人である大上さんの窯、大熊窯を訪ねました。陶芸体験では、悪戦苦闘しながらも、粘土をこねてお皿など思い思いの作品を作りました。その後、大上さんの技を見せてもらいました。電動ろくろの上で回る土塊が大上さんの手にかかる、まるで生きているかのように自由自在に形を変えます。その名人芸に子どもたちも思わず見入っていました。その後、人と自然の博物館に移動。爽やかな秋空の下、公園でお弁当を食べた後、チャレンジ問題に挑戦しながら館内見学を楽しみました。



② 2年生社会見学(ヨーデルの森)

10月の社会見学が延期となり、期待に胸を膨らませた11月9日(月)、お天気にも恵まれ、心地よい秋風を感じながら、2年生全員そろってヨーデルの森に行くことができました。ウサギやモルモットなどの小動物はもちろん、カピバラ、カンガルー、馬などの大きな動物とも間近に接することができました。普段見たりすることができない動物たちに直接触れたり、エサをあげたりと、子どもたちはたくさんの動物たちとの出会いに大喜びでした。子どもたちが、自分の目と耳と心を働かせ、様々な新しい発見をした一日となりました。



③ 1年生生活科「秋をみつけに余暇村公園へ」

11月10日(火)、1年生が、生活科の学習で「秋みつけ」に多可町余暇村公園行きました。木々が赤や黄色に美しく色づき、子どもたちは一面に広がる落ち葉の絨毯の上を駆け回りました。班のメンバーで協力して、様々な色の落ち葉や木の実をたっぷり集めたあとは、アスレチックやローラーすべり台などの遊具で楽しく遊びました。少し肌寒い一日でしたが、駆け回っていると汗をかくほど、熱中して満喫しました。集めてきた落ち葉や木の実を使って、図工の時間に小枝で三角形のリースづくりをし、思い思いに素敵な作品を創り上げました。



④ 3年生社会見学(明石魚の棚商店街と橋の科学館)

11月13日(金)、3年生が、明石市の魚の棚商店街と橋の科学館へ社会見学旅行に行きました。魚の棚商店街では、社会科で積み上げてきた学習をもとに、お店の人に質問をしたり、買い物をしたりしました。多可町では見られない海産物の商店の様子を、見学を通して学ぶ貴重な体験となりました。また、橋の科学館では、明石海峡大橋について映像で学んだ後、舞子プロムナードを見学し、明石海峡大橋の展望施設から、明石海峡の景色を眺めることができました。海の景色や橋の高さに、子どもたちは大興奮でした。多可町では体験できない多くのことを学ぶことができた社会見学でした。



⑤ 6年生、杉原紙の紙漉きによる卒業証書づくり

11月17日(火)と19日(木)、6年生が杉原紙研究所を訪問し、杉原紙の卒業証書を自分の手で紙漉きをして製作しました。多可町加美区北部にあたる杉原谷地区は古くは農閑期の副業として紙漉きをしていたと言われています。まず、館内見学をし、原料であるコウゾの刈り取りから皮むし、川さらしなど、杉原紙作りの工程を学んだ後、いよいよ紙漉きを行います。杉原紙研究所職員の皆さんの指導のもと、漉き下駄をゆっくりと動かす6年生の児童たち。6年間の思い出を1枚の杉原紙に漉き込むかのように、真剣な面持ちで作業を進めていました。



⑥ 4年生、紙漉き体験

11月20日(金)、4年生が国語科の学習「世界にほこる和紙」の学習の一環として、杉原紙研究所に行きました。杉原紙研究所では、和紙がどのようにして作られているのか、どのようにして和紙が守られてきたかについて話を聞きました。和紙の素晴らしさ、大切さを学ぶことができ、自分の町の素晴らしさについても考えることができました。また、実際に紙漉きの体験をし、オリジナルの作品を作りました。杉原紙の魅力に触れることのできた一日となりました。



《その他・お知らせ》

☆多可町独自学力テストについて

本年度も、多可町独自の学力テスト(国語・算数)を12月8日(火)に全学年で実施します。今年度学習した内容が、確実に身につけているかテストで確認します。結果をもとに事後の指導を計画的に進めていきます。ご家庭でも子どもたちの家庭学習にご支援をお願いいたします。

☆感染症対策について

新型コロナウイルス感染症が急速に広がりをみせています。学校でもこれまでの感染症対策に加え、特別教室に消毒液の設置や普通教室に加湿器の設置を進めています。ご家庭におかれましても、①予備のマスクをランドセルに入れておくこと、②ハンカチを持たせること等、ご協力をお願いいたします。

☆11月27日(金)に実施しました校内マラソン大会の結果については、紙面の都合上、次号にて、掲載をいたします。

※前号に引き続き、複合機デモ機によるカラー印刷でお届けしています。